

ファミリー・スタディ

家庭学習強調週間の取組に向けて 保護者の皆様へ

近年は、児童生徒が所有する携帯電話やスマートフォン等の数は増加の一途をたどり、それに伴い、全国的にネットトラブルやスマホ依存症等のさまざまな問題が起こっています。

このことで、いじめや学力低下の要因となり得ることや、犯罪に巻き込まれるケースも報告されており、今後もさらに深刻な問題になっていくことも懸念されます。

そこで、夕張市学校運営協議会としても、今年度の家庭学習強調週間（ファミ・スタ）の取組をはじめるとあたり、お子様に携帯やスマホなどを持たせる場合、子どもたちを被害者にも加害者にもさせないために、保護者の皆様には次のようなご協力をよろしくお願い致します。

子どもの健やかな成長につなげるために！

☆大人の協力

○携帯・スマホはゲームやSNS、動画も見られる魅力的な端末ですが、ネット依存やトラブルに巻き込まれてしまう子どもが多いのが現状です。そのため、携帯・スマホを利用する際は「自制する力」、「判断する力」、「影響されない力」などを子どもたちが、自分自身でコントロールしていくことが大切になります。そして、このことについて子どもたちに考える機会をつくるためには、大人の協力が必要ですのでご協力をお願いいたします。

☆家庭でのルールづくり 【子どもの身をトラブルから守るために】

- ①携帯・スマホを保持させる前に、ご家庭内で、本当に「必要なのか」それとも「不要なのか」を十分に話し合しましょう。
- ②トラブル防止の意識を持ち、子どものコミュニケーションの範囲をできるだけ把握しておきましょう。
- ③不安やトラブルに巻き込まれたりしたら、すぐに保護者に相談するという約束をしましょう。
- ④携帯・スマホの機能に関する知識の習得に努め、メールやSNSを送る時は、受け取る相手のことを考え、文章の表現や時間の配慮について、なるべく一緒に考えてアドバイスしましょう。
- ⑤子どもの成長や興味関心に合わせて、ルールやフィルタリングの設定などについて定期的に話し合い、見直しましょう。